

議 事 録

目 的	第5回尾鷲市総合計画審議会 部会協議
-----	--------------------

日 時	平成28年9月30日（金）19:00～19:40
-----	--------------------------

場 所	中央公民館 3階 講堂
-----	-------------

部 会 名	第2部会
-------	------

内 容	<p>○出席者 委員：中森 将人（部会長）、大西 正隆、塩崎 保夫、長谷川 陽 市：市民サービス課 湯浅係長、福祉保健課 三鬼課長、総合病院 平山課長 市長公室 岩本補佐</p> <p>○主な協議等内容 ・次回開催日 平成28年11月4日（金）19時～ ・質疑応答 以下のとおり</p> <p>進行：部会長 中森 将人</p> <p>○質疑</p> <p><u>2.1.1 健康づくりの推進</u> 三鬼課長：前回のご意見を踏まえ、41ページの2つ目のところに「歯周疾患検診」の事を入れさせていただきました。また、「各種健診受診率の推移」のグラフを載せさせていただきました。</p> <p>委員：健康ウォーキングについては、市民の皆さんが関心を持ちつつあるので、ポイント手帳などのことも入れていただいたら、さらに推進できるのではないだろうか。</p> <p>三鬼課長：こまごましたことは他にもあるが、どう整理すべきか検討している中で、今はその表現をしていない。書けるかどうかもう少し考えたい。</p> <p>委員：方針の4つ目にさわりは書いてくれている。</p> <p><u>2.1.2 医療体制の確保</u> 平山課長：「施策の成果を測る指標」について、「尾鷲市まち・ひと・しごと創生総合戦略」との整合を図るため、目標値を前回の2.50から2.71に修正させていただきました。また、尾鷲総合病院の「地区別外来患者数」と「地区別入院患者数」の推移のグラフを載せさせていただきました。</p> <p>委員：主な取り組み方針の中で、「市民は医療を適切に理解し、利用します。」という文章があるが、前回説明をいただいたので、どういうことかというのは理解できたが、市民の方がこの文章だけを見た場合、分かりにくいのではないかと思う。</p> <p>委員：部会としては、内容を変えるのではなく、より分かりやすい表現に変えることについては了解するので、病院と事務局で検討をお願いしたい。</p>
-----	---

2 2 1 高齢者保健福祉の推進

三鬼課長：特に変更箇所はないが、「尾鷲市の介護認定者数の推移」と「一人暮らし高齢者数の推移」のグラフを加えさせていただいた。

※特に質疑なし

2 2 2 障がい者福祉の推進

三鬼課長：これについても内容の変更はなく、グラフとして「障がい者関係の手帳所持者数の推移」を加えさせていただいた。

※特に質疑なし

2 3 1 社会保障の確保

湯浅係長：「施策の成果を測る指標」の現状値について、29.9%としていたが、再度見直しをしたところ、29.5%が正確な数値であったため、変更させていただいた。

また、「特定健康診査受診率の推移」のグラフを入れさせていただいた。

岩本補佐：「現状と課題」のところに、「社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）」という言葉が出てくるが、これの注釈を入れさせていただきたいと考えている。

委員：「データヘルス計画」についても注釈を入れてもらうようお願いしたい。

岩本補佐：「データヘルス計画」の注釈については、入れさせていただきたい。また、前回ご指摘があった「PDCA サイクル」の注釈については、4ページにイメージが書いてあり、言葉の説明も載せているため、231の施策の中には注釈を入れていないので、ご了承いただきたい。

2 3 2 市民相談窓口の確保

湯浅係長：内容の変更はなく、グラフとして「市民相談実績の推移」を入れさせていただいた。

※特に質疑なし

2 3 3 生活保障の確保

三鬼課長：これについても、内容の変更はなく、「生活保護世帯の割合の推移」のグラフを加えさせていただいた。26年までのデータになっているが、27年の数値も加えたい。

※特に質疑なし